



発行 社会福祉法人  
いちようの里後援会  
発行責任者 藤吉 幸博  
〒299-5251  
千葉県勝浦市大森上植野  
入会地13-2  
みずほ学園内  
Tel 0470(76)4321

## 新年を迎えて

いちようの里後援会 会長 藤吉 幸博

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、会員、地域の皆さまをはじめ様々な方々にご支援を頂き厚く御礼申し上げます。本年も引き続きまして宜しく願い申し上げます。また、新たに会員になって頂いた方には、改めて御礼を申し上げますと共に、今後とも宜しく願い申し上げます。

後援会改革(利用者の保護者中心の会からより開かれた会への再構築等)を始めてから3年になりますが、地元役員の方のお骨折りにより地元の方との絆は確実に太くなり、地元会員も増加しております。

しかし、一部の地元の方からは、学園の活動が良く見えないとの意見も頂いております。

そこで、今年は、学園と協力して、地元の方とより絆を深める方策を実行していきたいと考えています。また、地元以外のより多くの方への理解を深めていくために、学園ならびに保護者の方との連携を深め、新たな方策を具体化し実行していく事が重要だと考えています。今までも、検討はしてきましたが、必ずしも成果が出ているとは言えないので、色々アイデアを出して頂ければ助かります。

今年は、学園の設立趣旨である「利用者一人ひとりの特性を活かした安心で生きがいのある生活」の場を目指すという原点に立ち戻って、その趣旨に沿って後援会活動を展開していきたいと考えており、そのためには、昨年以上のご支援・ご協力を仰ぐ必要がありますので宜しくお願い致します。

このところ、予告編ばかりで中々できなかった学園のホームページを昨年末に開設しましたのでお知らせ致します。ホームページのアドレス(URL)は、<http://mizuhogakuen.or.jp/>です。

学園活動ならびに後援会活動の理解の一助にして頂ければ幸いです。また、皆様のご意見を頂きながら、今後とも、より皆さまのお役にたてる内容にしていきたいと思います。

## 新年のあいさつ

いちようの里理事長 早瀬 榮

新年明けましておめでとうございます。

後援会の皆様には良き新年をお迎えのことと思います。

会員ご家族皆様のご多幸とご健勝をお祈りするとともに会員皆様の常日頃の厚いご支援に深く感謝致します。

みずほ学園にとって新年度は、社会福祉法人制度改革により地域福祉への新たな社会貢献責任を求められる年でありまた、後援会の、3年前から始めた組織再構築活動が、初期基盤整備も進みつつある中で、新たに支援会員となつて頂いた地域会員との更なる絆造りと地域との関係創り強化が課題となる年でもあります。

先日の広報編集会議では、地域会員の方から、地域から見た今後の広報の有り様について率直なご意見をいただきました。

地域の中には、広報誌からだけでは、みずほ学園の実態が良く解らないといわれる方が多くおられることや、地域には自分の出来ることで何か人の役に立ちたいと思つておられる方が多くおられることを再認識させられました。

みずほ学園の利用者一人ひとりの、施設支援サービスを受けられている時の様子・表情のありのままを現場からのリアルな情報発信や地域のみなさまの学園見学等を通じて、適切にお伝えすること。更に、今、地域の方に参加していただけることで何が支援上不足しているかなどを整理してお伝えすること。これら質の高い情報を発信することの大切さと責任を強く認識させられました。

「情報」とは、「情けに報いる」と書きまますが、同じ情報コンテンツでも、読む人の心のよりどころによってその影響力は異なります。

地域の方一人ひとりに、みずほ学園を身近に感じていただき、温かい理解を持つて頂くため、新たな機会づくりとなる施策を後援会役員会と連携して進める所存です。



正月は、厨房も知恵を絞って、お雑煮やおせちなど、できるだけ家庭と同じような献立を用意します。←↑



正月3が日もいつもの通り日課をこなします(部屋の清掃)→

近い将来は、さまざまな理由から学園でお正月を過ごされる方が確実に多くなるのではないかと思います。

まずほ学園に入所している利用者さんのお正月の過ごし方のスナップです。

年末年始は、三十日に帰宅して、正月三日には学園に戻ります。

しかし、保護者の方々がご高齢となるにつれて、年々、帰宅できる利用者が少なくなってきました。

栄養士さんに正月の献立について聞いたところ、「正月は、元旦に利用者さんにお雑煮を食べてもらいます。

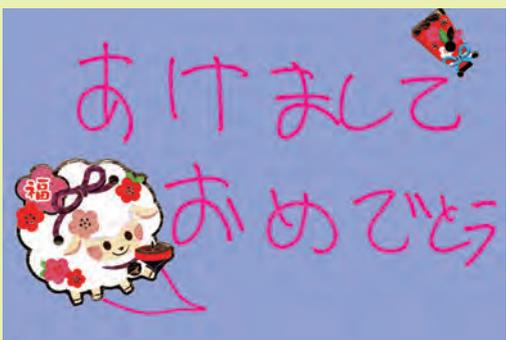
ただ、お餅を喉につかえることがないように、餅の粘り具合も配慮して、食事の時に注意をしています。また、おせち調理も提供していますが、塩分等を配慮し、食事ごとに小出しにしています。さらに、学園で正月を過ごされる利用者さんには、事前に好みを聞いて、食事のメニューに加えています」とのことです。なんととっても食事は利用者さんの楽しみの一つですので、大切にしています。

また、日中は施設内で正月特番のテレビなどをみたりして過ごしています。グループホームの利用者の中には初詣に行くひともあります。それから入所の利用者は買い物ドライブにも出かけます。正月だからといって特別なことは特にありません。

施設利用者さんのお正月の過ごし方

施設長 深澤茂俊

# あけましておめでとう



家族へあてた年賀状  
C組のみなさまからそれぞれのご家族にあてた年賀状をお借りしました。  
今では、折に触れて家族へのはがきを出してくれる利用者のみなさまですが、永年の試行錯誤の末にこうしたアクションが実現しています。それが支援に対する職員の意識と行動力の賜物であることを忘れてはなりません。

# 会計担当からのお知らせ

会計担当 牧山 滋

社会福祉法人いちちょうの里  
後援会会員、関係者の皆様、  
明けましておめでとうござい  
ます。

昨年中は、何かと大変お世  
話になり有難うございました。  
昨年は、国内外を問わず、大変  
な異常気象の発生、船の沈没  
や航空機の突然の消息不明等  
大きな事故が多発した年でし  
たが、皆様にはご健勝にお過  
ごしのことと存じます。

皆様の多大なご支援のもと、  
本年度の会費につきましては、  
9ヶ月で昨年度を既に上回っ  
ております。これもひとえに会  
員及び関係者の皆様がたの暖  
かいご理解とご支援のお陰と  
心より感謝をしている次第で  
す。

一方、いちちょうの里では、み  
ずほ学園の下水処理施設の改  
修などライフラインに関わる  
大型の出費も見込まれており、  
後援会の役割はますます重要  
な状況となっております。

今後とも、社会福祉法人い  
ちちょうの里に変わらぬご指導  
とご支援のほど宜しくお願い  
申し上げます。

## みずほ学園では、わくわくショップでお手伝いいただくボランティアを募集しています。

\*\*\*出店予定日時：3月5日～8日(木～日)(10:00～19:00) 場所:大多喜オリブ\*\*\*

3月5日(木)10:00～13:00 商品搬入・展示

13:00～16:00頃 販売補助

6日(金)、7日(土)、8日(日) 10:00～16:00頃 販売補助

8日(日) 18:00～商品搬出・撤収

以上、お問い合わせは みずほ学園まで TEL 0470-76-4321



## 会員の声

地域の人たちは、みずほ学園の実情をあ  
まり詳しくは知りません。そこで、より絆  
を深めるためには、もっともっとよく知って  
もらう努力が必要だと思えます。そのため  
にも是非、次のようなことを実施してくだ  
さい。

・みずほ学園を知ってもらう機会を作る  
(例えば、作業ボランティアなど)  
(また、学園の見学会など)

・地域の一人暮らしの高齢者宅訪問  
(話し相手になる、庭の草取りをするなど)

・広報紙は、利用者のナマの姿を伝える  
(園での日中活動状況、昼夜の生活の様子)  
(障害を持つことは、いまは、個性と考える  
ときだから積極的に発信を)

・学校との交流を行う  
(地域の高校に福祉科新設、生徒と利用者  
のふれあいが教育の一環にもなる)

## 編集後記

本号の編集会議では、地域の方のご意見を  
お聴きして、紙面の刷新を図ることとしました。  
地域の方のご意見は、私たちの目から鱗をは  
がすものでした。本号をはじめとして、今後の広  
報紙「いちちょう」が、より会員みなさまのお役に  
立てるよう心がけていきます。